

大阪大学
中国科学院

生物DBを効率検索 高速システム構築へ連携

大阪大学サイバーメディア
イアセンターと中国科学院
院微生物研究所(北京)
は二十四日、多数のコン
ピューターをつないで超
高速計算をするグリッド
コンピューティング(超
高速計算網)の共同研究
に着手したと発表した。
両機関が保有する生物デ
ータベースを相互接続
し、情報を効率よく検索
するシステムを四年後ま
でに開発する。

第一弾として、中国科
学院の生物資源データベ
ースを日本から手早く検
索できるシステムを作っ
た。植物、微生物など約
二千八百種類の生物遺伝
子などの情報を収めるデ

ータベースで、医薬品の
開発や植物の品種改良な
どに役立つという。

今後、阪大が運用する
たんばく質の立体構造に
関するデータベースを中
国側から検索するシステ
ムなども開発する。シス
テムの完成後、両国の研
究者が利用できるように
する計画で、今後、具体
的な利用方法を詰める。

阪大は韓国やシンガポ
ールとの連携も検討して
おり、アジア各国と協力
して情報技術(IT)を
利用したバイオ研究を推
進する。